

姉妹都市をたずねて

10月27日(土)・28日(日)の「第34回入間万燈まつり」
11月4日(日)の「第29回国分寺まつり」に佐渡市が参加しました。

入間万燈まつり

入間万燈まつりには、佐渡から芸能や・物産関係者など総勢約130名が参加しました。

今年も、2日目がいにくの雨天となりましたが、佐渡物産展では過去最多となる6万個のおけさ柿を販売したほか、佐渡の食材をふんだんに使用した「鱒わい井」や「佐渡牛コロッケバーガー」が初めて出展され、入間市民から好評を得ていました。

また、芸能公演では、旧両津市時代から入間市との交流が深い「はまなす会」や首都圏在住の民謡4団体、初参加となる栗野江鬼太鼓保存会が参加し、会場内の各ステージにおいて鬼太鼓や佐渡民謡が披露されました。



初出展された「鱒わい井」の販売



佐渡物産展会場で行われた「佐渡おけさ教室」

国分寺まつり

今年の国分寺まつりは晴天に恵まれ、例年以上の来場客で賑わいを見せていました。

芸能公演では、昨年に引き続き、メインステージにおいて首都圏在住の民謡団体「若波会」が佐渡民謡を披露した後、物産展会場に場所を移し、若波会の皆さんによる「佐渡おけさ教室」が行われ、佐渡芸能を通じて交流がなされました。

佐渡物産展では、佐渡から運ばれた活サザエや一夜干しイカの焼き物販売のほか、地酒や乳製品、果物などの幅広い商品に長蛇の列ができ、佐渡産品の人気の高さが改めて示されました。

12月は地球温暖化防止月間です

地球温暖化対策の中で一番大きな課題なのがCO₂(二酸化炭素)の排出量削減です。このCO₂の排出量を減らすには、化石燃料の消費を減らす必要があります。運輸部門のCO₂排出量は全体の約2割。その中でも自家用車からの排出量が約半分を占めており、自家用車から排出されるCO₂を削減することが急務とされています。

エコドライブ普及連絡会(警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省)が推奨する、エコドライブ(環境負荷の軽減に配慮した自動車の使用)を実践することで、必要なガソリン等の消費を減らすことができ、CO₂の排出を抑制することができます。

地球温暖化防止のため、一人ひとりができることから始めましょう。

エコドライブ10のすすめ

① **ふんわりアクセル「eスタート」**
日々の運転において、やさしい発進を心がけるだけで10%程度燃費が改善します。

② 加減速の少ない運転

車間距離が短くなると、ムダな加速・減速の機会が多くなり、市街地では2%、郊外では6%程度も燃費が悪化します。交通状況に応じて速度変化の少ない運転を心がけましょう。

③ 減速時は早めにアクセルを離そう

信号が変わるなど停止することがわかったら、早めにアクセルから足を離しましょう。そうするとエンジンブレーキが作動し、2%程度燃費が改善します。

④ エアコンの使用は適切に

車のエアコン(A/C)は車内を冷却、除湿する機能です。暖房のみ必要なときは、エアコンスイッチはオフにしま

しょう。また、冷房が必要な時は車内を冷やしすぎないようにしましょう。

⑤ ムダなアイドリングはやめよう

待ち合わせや荷物の積み下ろしなどによる駐車車の際は、アイドリングはやめましょう。10分間のアイドリングで、130cc程度の燃料を消費します。

⑥ 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう

出かける前に、地図・カーナビなどを活用して、行き先やルートをあらかじめ確認し、時間に余裕を持って出発しましょう。1時間のドライブで道に迷い、10分間余計に走行すると17%程度燃料消費量が増加します。

⑦ タイヤの空気圧から始める点検・整備

タイヤの空気圧チェックを習慣づけましょう。タイヤの空気圧が適正値より不足すると、市街地で2%程度、郊外で4%程度燃費が悪化します。

⑧ 不要な荷物はおろそう

運ぶ必要のない荷物は車からおろしましょう。100kgの荷物を載せて走ると、3%程度も燃費が悪化します。

⑨ 走行の妨げとなる駐車はやめよう

迷惑駐車はやめましょう。迷惑駐車は、他の車の燃費を悪化させるばかりか、交通事故の原因にもなります。迷惑駐車の少ない道路では、平均速度が向上し、燃費の悪化を防ぎます。

⑩ 自分の燃費を把握しよう

自分の車の燃費を把握することを習慣にしましょう。日々の燃費を把握すると、自分のエコドライブ効果が実感できます。

詳しくは、エコドライブ普及連絡会ホームページをご覧ください。

<http://www.team-6.jp/ecodrive/>

お問い合わせ

市役所環境対策課 環境企画係
☎ 63-3113